

子どもの読書活動優秀実践団体取組発表

「活動の目的について～私たちが目指す読書支援～」

1. はじめまして

「そらきたホイ！」の場合・・・子どもたちが“自分で読む”読書の支援が目的

だから → 「読み聞かせボランティア」ではなく「読書支援ボランティア」

2. おはなし会の内容

- ・小道具を使った手遊び ・素語り ・児童書一部朗読 ・本のクイズ ・紙芝居
- ・本紹介 ・詩あそび ・アニメーション ・絵本の読み聞かせ ・ミニ工作 ・創作遊び など

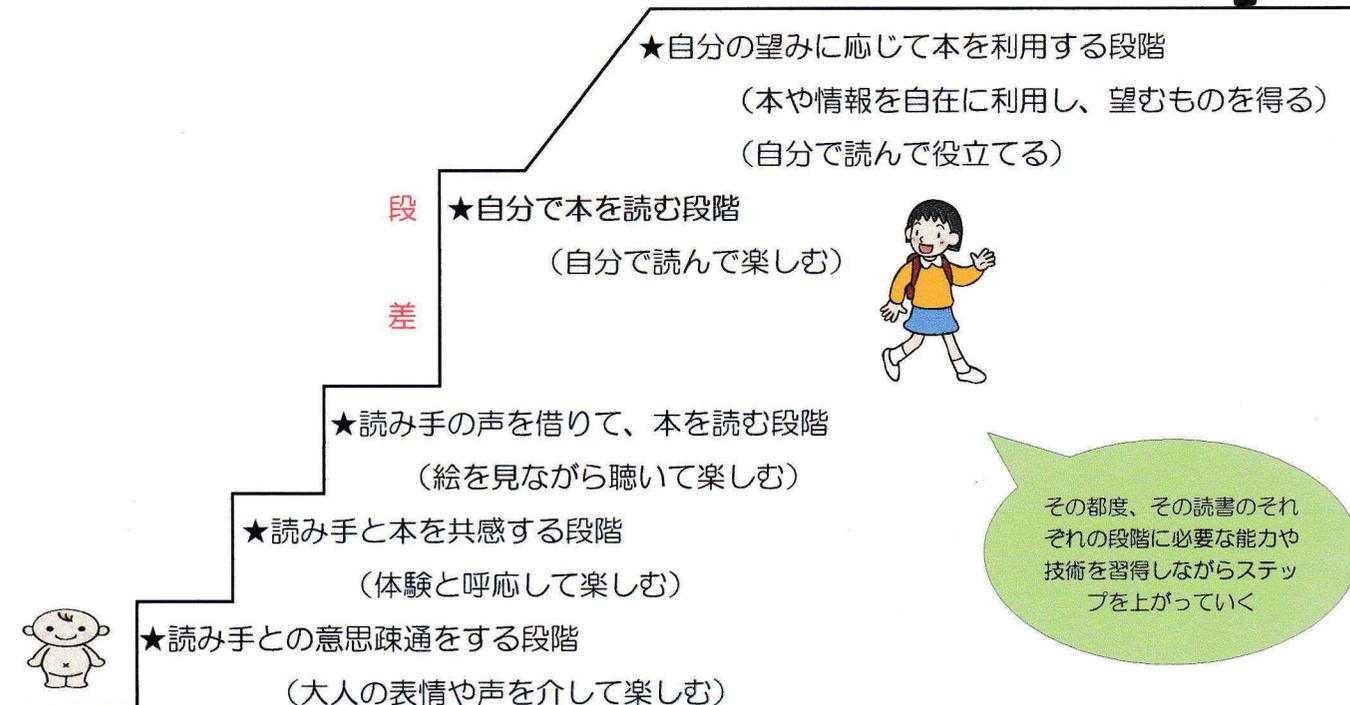
→すべてその後、自分で本を手にとって、自分で読んでもらうため

(学校司書とも協力)

3. 子どもの発達段階に応じた読書支援

子どもの読書は「自分で読む読書」に至までの長い道のりの中で、

心身の成長とともに、その姿かたちをどんどん変えていく



その都度、その読書のそれぞれ
の段階に必要な能力や
技術を習得しながらステッ
プを上げていく

※子どもの読書の段階を意識した、計画的で適切な支援が必要では？

4. まとめ

ひとりでも多くの子どもたちが、長い“読書の道のり”を楽しく歩めるように、子どもに直接向き合う支援だけに留まらず、これからも様々な方々と協力して、その時々に必要な支援を続けていきたい。

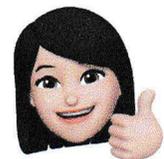
子どもの読書支援は、誰か特定の人が担うものではない。子どもの周りにいる大人（学校の先生、学校司書、図書館司書、園の先生、保護者、読書ボランティアなど）が、それぞれの立場で役割を分担し、協力しあって実践、支援していくことが大切。知恵を出し合って、子どもたちが読書の道のりを歩みやすい環境を作る努力を！

【メ モ】

ご静聴ありがとうございました



あいが



ほりえ